

第3回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成26年3月1日(土)午前9時30分～
開催場所	宇陀市農村環境改善センター「農林会館」 大会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	
(2)会長あいさつ	・上野会長あいさつ
(3)議事案件	・子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査集計結果について(全体版) ・子ども・子育て支援事業計画骨子案について ・事務局より説明を行った。
質疑・意見	
会長	・集計結果を見ると、子どもを預かってもらえる祖父母が多い。比較的核家族が少ないのでは？ 私は、長年天理市に住んでいたが、妻が一日中、誰ともしやべらない日が多くあった。 近所付き合いがあるということは、宇陀市の子育てにとって、良いところだと思う。 榛原西小学校校区というのはどのようなところですか。
事務局	・昭和50年頃に建てられた白樺台などの住宅地があり菟田野地域に近いところですよ。
委員	・榛原西小学校校区は、2世代同居の家庭も多く、地域のつながりが深いと思う。 また、自治会の横のつながりもあり、同年代の保護者のつながりも強い地域だと思う。
会長	・2世代が多いということですね。以前は、子どもが小さいとき近所のおじさんによく叱られましたが、今はそのようなことはあまり見ませんね。
会長	・子どもを育てていく中で、しつけは家庭、教育は学校と、古いかもわかりませんが、私は、そう思っています。 集団生活は幼稚園、保育所などで養われるものです。報告書の29ページで教育、保育利用が6歳以上で100%とある。 また、42ページの各事業所の認知度が低いのが気になる。今後の利用ニーズは高い結果だったことから、事業所の周知が必要ではないかと思う。 利用希望については、少しでも子どもと一緒にいたいと思う親心ということだと思う。
副会長	・学校などの参観日に小さい子どもを連れてくる親御さんを見ていると、預ける人がいないのだなあと思う、気兼ねなく利用するには、定員があり保育士や教員が必要になる。宇陀市で預かり保育をするとき定員以上の応募があった。 そうなれば、保育士の手配が大変になる。施設の確保も保育士の確保も必要になる。その辺のところを考えてもらいたい。
会長	・今は、子どもの数が少ない、家庭で社会性を養うのは難しい。だから、保育所・幼稚園で養うことが大切。 自由記述をみて、これだけのことができればよいが。
委員	・祖父母などに預けることができない親に対して、受け皿として子育て支援センター等、うまく利用すれば補えると思う。ケースによって利用できるサービスの周知していただけるよう、情報発信が大切だと思う。
委員	・子育て支援センターには、同世代のお母さんが集まってくる。榛原小学校校区は核家族が多く、祖父母は少ない。 大宇陀では、参観日は預かってもらえるところがあると聞きますが？
事務局	・学校参観日に、小さい子どもを連れていくと迷惑になるので、出席できないケースについて、ファミリーサポートセンターが今年より登録制でサービスを始めています。現在121名が登録され、利用がありました。ぜひ、利用してください。すでに、平成25年度からは、学校へも周知しています。
委員	・以前、水曜日は半日でしたが、預かり保育の希望時間は、1:30～2:00、2:00～3:00、3:00～3:30と希望が延びます。子どもの発達段階に応じた預かり保育の内容が大切だと思う。 報告書の42ページを見ると子育て相談事業の利用が少ない、事業の周知が必要。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書を見て感じたことをあげると、4ページ、施設を通じた回収より、一般の回収率が比較的低いのは。 12ページ、子育ての第一の影響は家庭であること。 16ページ、0歳児を抱える家庭の相談先がないこと。 17ページ、民生委員が相談先に少ないということ。 41ページ、子育て情報誌の認知度が高くなっている、うまく活用すべき。 45ページ、土曜日の保育ニーズが高くなっている検討すべき。 61ページ、高学年になっても学童保育の利用ニーズが高い。以上です。
会長	・民生委員について、一般の人は何をしているのか知らないのでは、児童委員は周知してもよいのでは。
委員	・市の広報で周知されている。
委員	・見ず知らずの人に相談しにくいと言われたことがある。友人のほうがいい。また、顔見知りが多いので相談しにくい。
委員	・学童保育、どこまで預かるのか、4年生～6年生までで、中学生は無理。現在、榛原は6年生は来ていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を見ると保護者の帰りが遅いとか、仕事を休めないとかがあるが、緊急時に対応できる施設が必要だと思う。 次回のアンケート調査をする場合には、もう少し細かく調査してほしい。
会長	・自由意見の中では施策に対応できるものがあると思うので骨子案に盛り込んで頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議では、計画素案の審議になる予定です。そのほうが、委員の皆さんの意見が出やすいかと思えます。 幼保一体化認定子ども園や、就学前の窓口の一本化、認定子ども園への移行、必要な方に必要な受け皿、このような計画の内容を考えています。
会長	・本日の審議につきまして、調査報告、計画骨子案につきまして、ご了承いただけますか。（全員了承）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、他地域の事例について質問がありましたが、いかがですか。 檀原市（白檀地区）の事例を紹介。 檀原ナビプラザを拠点として、子育て情報の発信、子育て相談、一時預かり保育などを提供している。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・東吉野村では、幼稚園について、6時まで延長保育を実施している。 午後2時まで幼稚園、それ以降は、保育所として保育を提供。
委員	・骨子案の5ページ、新たな施設(子ども園)について、各小学校区に一つずつ整備をするということですか。
事務局	・校区内に施設を整備するということではなく、区域ごとのニーズを把握するために小学校区に分けて実施しました。
委員	・保護者代表として、子育てしやすい地域に引っ越すという選択肢もあります。もともと東吉野村に住んでいたが、保育所のある菟田野に子育てのために来ました。宇陀市に永住したくなる子育て環境を整備してもらいたい。
委員	・共働きが多いと、驚いていますが、どのように子育てをケアしていくのかということで、計画がたてられますが、親の負担軽減もいいんですが、子どもの育ちの環境も大切だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、たくさんの意見ありがとうございます。 貴重なご意見を計画に反映していただきたいと思います。
(5)閉会	